

## B Z D薬害を考える会

件名: 全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA)【情報 Vol.2 2 9】

各位 (本情報提供メールは当会会員、協力弁護士、協力医、報道機関、医療過誤団体、野党政党等の約400カ所へBCC送信しています)

全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 (BYA) の多田雅史です。

本メールはベンゾジアゼピン (BZD) 関連情報をお送りしています。

- (1) 新規の情報提供希望者が身近におられた場合、BYA-HPの「お問合せ」をご紹介ください。  
<https://www.benzodiazepine-yakugai-association.com/>
- (2) 有用な情報をお持ちの方は本メールに返送してお知らせください。皆さんに情報提供します。
- (3) 情報の中で「拡散すべき情報」があれば、皆さんの判断で自由に「転送・SNS拡散」してください。

### 【目次】

1. 地裁民事第一審通常訴訟事件・医事関係訴訟事件の認容率 (図とファイルを添付)
2. 大学生の娘が突然に… 「真実を知りたい」母の思い 医療事故調査委5年の課題 (添付)
3. 気分障害や不安症に対するベンゾジアゼピン使用を減少させるための認知行動療法
4. 東京女子医大医療事故 麻酔科医6人を業務上過失致死容疑で書類送検 (添付)
5. 華原朋美さん「緊急入院」報道も… “自己破壊”を繰り返す「ギリギリの実態」 (添付)
6. “体内に隠した覚醒剤を見つけ出す” 密輸防止に新装置導入へ
7. 渋谷区職員を逮捕 大麻所持容疑
8. 患者のがん見逃す医療事故 県立尼崎総合医療センター
9. たどりついた西成でともに…元薬物依存者が探る立ち直り
10. 米製薬パーデュー、鎮痛剤めぐる巨額和解で有罪認める方針 オピオイド訴訟

### 【記事】

1. 地裁民事第一審通常訴訟事件・医事関係訴訟事件の認容率 (図とファイルを添付)  
医事関係訴訟の認容率 (勝訴率) が大きく変化して、16年間で約1/3になっている。  
これは、公正・公平な裁判が行われていない事実を示している。  
つまり、医療界⇒内閣⇒最高裁長官⇒下級裁判所判事のルートで  
「医療側を勝訴させる」の暗黙の了解 (忖度) があるせいである。

平成14年 平成30年  
46.9% → 18.5% 1/3近くに急落し続けている。

2. 大学生の娘が突然に… 「真実を知りたい」母の思い 医療事故調査委5年の課題 (添付)  
<https://news.yahoo.co.jp/articles/7367f9b055cf74bb17f34e9de0d46cfa24c5d91?page=1>
3. 気分障害や不安症に対するベンゾジアゼピン使用を減少させるための認知行動療法  
<https://www.carenet.com/news/general/carenet/51008>
4. 東京女子医大医療事故 麻酔科医6人を業務上過失致死容疑で書類送検 (添付)  
<https://mainichi.jp/articles/20201021/k00/00m/040/123000c>
5. 華原朋美さん「緊急入院」報道も… “自己破壊”を繰り返す「ギリギリの実態」 (添付)  
<https://news.yahoo.co.jp/articles/39e91fd1bc4c5880605486c925dd419ac2179096>

2020/10/22 19:41

以下引用

『「処方薬依存」という深刻な問題

華原さんは以前も薬物依存の治療のために精神科病院の閉鎖病棟に入院したことがあるらしいので、不安が強くなり、精神的に不安定になると、睡眠薬や抗不安薬に過度に頼る傾向があるのかもしれない。

睡眠薬も抗不安薬も、原則として医師に処方してもらわなければ手に入れられない処方薬である。この処方薬に頼りすぎて依存するようになる処方薬依存が、現在深刻な問題になっている。

薬物依存といえば、覚せい剤や大麻などの違法薬物への依存を思い浮かべる方が多いかもしれない。

だが、「全国の精神科医療施設における薬物関連精神疾患の実態に関する調査」によれば、薬物依存で病院に通院している患者のうち、使用薬物で最も多いのは覚せい剤だが、その次に多いのが睡眠薬や抗不安薬などの処方薬なのだ。これらの処方薬は、わが国で第2位の乱用薬物といえる。

とくにベンゾジアゼピン系の睡眠薬や抗不安薬への依存は深刻な問題である。こういう薬は酩酊感をもたらしてくれるため、「嫌なことを忘れたい」「とにかく何も考えず眠りたい」という気持ちから乱用する方も少なくない。

もちろん、その背景には、睡眠薬や抗不安薬を漫然と処方する医師の問題もある。日本は欧米に比べ、この系統の薬の処方件数が格段に多いのだ。』

6. “体内に隠した覚醒剤を見つけ出す” 密輸防止に新装置導入へ

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20201019/k10012669831000.html>

7. 渋谷区職員を逮捕 大麻所持容疑

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2020102200896&q=soc>

8. 患者のがん見逃す医療事故 県立尼崎総合医療センター

<https://sun-tv.co.jp/suntvnews/news/2020/10/22/30153/>

9. たどりついた西成でともに…元薬物依存者が探る立ち直り

<https://www.asahi.com/articles/ASNBP4JDHNBHPTIL02B.html>

10. 米製薬パーデュー、鎮痛剤めぐる巨額和解で有罪認める方針 オピオイド訴訟

<https://www.bbc.com/japanese/54640495>

以下引用

『処方鎮痛剤などに含まれる麻薬オピオイドの中毒を拡大したとして、アメリカで集団訴訟の被告となっている米製薬大手パーデュー・ファーマが21日、米司法省相手に計83億ドルの和解案に合意し、アメリカの「オピオイド危機」悪化に果たした役割について有罪を認めると発表した。ただし、州政府や個人による数千件の訴訟は継続する。』



全国ベンゾジアゼピン薬害連絡協議会 多田雅史